

インドネシア活動報告⑭

株式会社マジオネット

JICA 青年海外協力隊 2016 年度 2 次隊

山口 麗子

【今月(4/16~5/19)の活動】

・インドネシア社員研修 ・北スマトラ出張

※諸事情により、先月でロンボク島での活動は終了することとなった。来月から新天地にて活動を行う予定である。今月～来月は、新しい配属先での活動に向けての準備期間となっている。

◎インドネシア社員研修

5/7 よりマジオネット社員 13 名がインドネシア研修としてジャカルタ・ロンボク・バリを訪れた。ジャカルタでは JICA 事務所と大使館の訪問をし、ロンボクでは NTB 州日本人会と地元学生の協力も得て、「ロンボク夏祭り」を開催した。ロンボクでは自身の活動の様子や深く関わっている地域の人々を紹介する予定であったが、事情によりできなかったことがとても悔やまれた。今後、社内で報告会が実施される予定であるので、研修に来た社員がインドネシアで何を得ることができたのか聞けるのが楽しみである。



「ロンボク夏祭り」のスケジュール

◎北スマトラ出張(5/13~5/18)

北スマトラ出張では、メダンで活動している環境教育隊員と共に活動を行った。3日目から同隊員が高熱の為に入院してしまったので、後半は現地スタッフのサポートを得ながら1人で活動した。

《メダンお掃除クラブ清掃活動》



《北スマトラ大学・SMKN1プレゼン》



初日は「メダンお掃除クラブ」という団体の清掃活動に参加、2日目は北スマトラ大学と SMKN1 にて学生向けに環境問題についてのプレゼンを行った。SMK ではプレゼン後におにぎりを作った。

《エコロッジ、ごみ銀行、マングローブ保護区視察》

3日目はブキ
ットラワン地区に
ある「エコロッジ」
という環境に配
慮した宿泊施設
の視察、4日目
はスマトラで最も



成功しているごみ銀行とその付近にあるマングローブ保護
区の視察を行った。エコロッジとごみ銀行は過去に日本政府
や北九州市からの援助を受けた過去があり、至る箇所で日
本の国旗をみることができた。現在も関係が続いており、活
発に活動している様子であった。また、マングローブ保護区

の付近には多くの住居が存在しており、なぜか雨も降っていないのに洪水が発生していた。子供
たちはプールのように遊んで楽しんでいる様子であったが、その状態には強い違和感を覚えた。
住民はもっと危機感を持ち、悪化しない為の措置を早めに行うべきだと感じた。(洪水の様子は添
付動画参照)

《環境団体向けワークショップ》



5日目はデリー川のほとりにある公園にて環境団
体向けのワークショップを行った。「Go River」という川
の保全を行っている団体主催であった為、「川のもの
がたり」というプログラムを行い、その後、汚染された
川が持つ影響やそれを改善する為に何ができるかな
どをグループで話し合ってもらい、発表してもらった。
どのグループも熱心で、真剣に環境問題について考
えてくれた。

《日本語学校(アサガオ・パンダ)での活動》

5日目、6日目には日本語学校2校で会話練習や環境に
絡めて日本の地域活動等の紹介を行った。その日授業が
ない生徒も私の訪問に合わせてわざわざ集まってくれてお
り、恥ずかしがり
ながらも様々な質
問を投げかけてく
れた。日本への
興味の高さを知る
ことができた。

